

香川大学インターナショナルオフィス国際研究支援センター主催
日本遠隔医療学会後援

国際ワークショップ

国際遠隔医療の新展開へ向けた産学官民の連携

～アジアの国々と共に何をすればよいか～

医療の進歩の影で医療格差の問題が各国で深刻化しています。格差の解消を目指す様々な医療支援活動が世界で展開されていますが、香川大学が推し進める ICT の積極的な活用は、そのための有効な解消策の一つとして今注目されています。本ワークショップは、ICT による国際遠隔医療システム(International Tele-Health System)に係る産学官民の関係者を集め、現状から今後の具体的な展開の可能性まで、さまざまな観点から議論します。そして香川大学の海外教育研究交流拠点校のあるタイ、ブルネイを含めた東南アジア諸国と共に何をしていけばよいかを探りたいと思います。

日時：2011年11月18日（金）13：00～17：40

会場：香川大学幸町キャンパス 研究交流棟 5階

研究者交流スペース

<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

プログラム

オープニング

13：00－13：10 開会の挨拶 板野俊文（香川大学インターナショナルオフィス）

13：10－13：30 趣旨説明 徳田雅明（香川大学医学部）

第1部

13：30－15：00 【日本の遠隔医療の現状と国際応用】（座長：徳田雅明）

長谷川高志（日本遠隔医療学会）

「日本の遠隔医療、推進政策と研究動向および国際的取組み」

原 量宏（徳島文理大学理工学部、香川大学瀬戸内圏研究センター、日本遠隔医療学会）

「香川県における遠隔医療と電子カルテネットワークの開発の経緯と今後の国際的な展開」

尾形優子（株式会社ミトラ）

「周産期電子カルテネットワークプロジェクト、タイへの展開」

飯原なおみ（徳島文理大学香川薬学部）

「電子処方と副作用データベース」

第2部

15:15-16:30 【国際遠隔医療の今後の課題と可能性】(座長:原 量宏)

Song Yu (首都医科大学附属北京産婦人科病院)

「Medical Situation in Beijing」

樽松八平 (情報通信研究開発機構、BHN テレコム支援協議会)

「NICTにおける医療ICTの取り組み、タイでの遠隔医療について」

徳田雅明 (香川大学医学部)

「ブルネイ・ダルサラーム国におけるICTによる国際遠隔医療の展開～近いけれど医療に遠い現実～」

安里和晃 (京都大学大学院文学研究科)

「老いるアジアと介護人材の国際移動」

細田尚美 (香川大学インターナショナルオフィス)

「フィリピンにおける医療の現状」

16:30-17:30 総合討論 (座長:飯田豊彦)

<ディスカッション>

板倉宏昭/長尾敦史 (香川大学地域マネジメント研究科) (予定)

新井信之 (大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科) (予定)

澤田秀之 (香川大学工学部)

17:30-17:40 閉会の挨拶 飯田豊彦 (香川大学インターナショナルオフィス)

18:00-20:00 懇親会

<お問い合わせ>

香川大学インターナショナルオフィス 細田

TEL: 087-832-1198 Email: hosoda@cc.kagawa-u.ac.jp

香川大学国際グループ 古島/野田

TEL: 087-832-1318 Email: soryucet@jim.ao.kagawa-u.ac.jp